

『北杜市との連携協定:森と
水を守る取り組み「水育」に
ついて』

サントリー本社

▶ サントリー概要

- 社用林はほぼなく県有林などを無償整備協定を結んでいる
 - ⇒すべての整備をサントリーで行う
 - ⇒協定も数十年以上の契約
 - ⇒地域に貢献できている

土づくり / 森づくり

- ふかふかな土
 - ⇒ 団子状の土が水を含めるようにする
 - ⇒ 植物の根や微生物の力で土をスポンジにする
- 間伐と動植物の多様性で土を作る
- 現地調査含む調査に時間をかけて多くの先生方と研究し、水を調べシミュレーションしていく。
- 鹿の課題が大きい
 - ⇒ 1万頭が15年で10万頭になる。(年率20%)
 - ⇒ 地表の植物を全て鹿に食べられる。(トリカブトまで食べる)
- 地域性苗木を植林

▶ 森

- 多様性のある森を作ることによって斜面崩壊リスクも低減していく。
⇒ 縦に根を張る木と横に根を広げる根
- 猛禽類が子育てできる環境を作っている
⇒ 広葉樹で鷹の通り道がなくなったら間伐して道を作るなど。
- 2030年までに陸域海域の30%を保全保護することを目指すために30By30アライアンスが設立されている。
⇒ ひょうご西脇門柳山が認定された（天然水の森）

水育

- 森と水の学校をして28900名。小学校3～6年生向けに夏休み期間を利用して開催。（40名／回）
- 出張授業。小学校4～5年生向けに授業2コマ。担任の先生と一緒に行う
⇒ 私たちの生活と水（担任が教える45分）
- GIGAスクール構想に対応して自宅オンライン復習をできるように整備した。（ポイントでまちづくりをしていくゲーム）

➤ 質疑

- 水の学校は大人気
- 行政側からの補助金で事業をして行く事は？
⇒ 自社で費用負担していく事も多いが行政をタイアップして事業化していく事もある。
- 山梨県では水税が普通税としての導入が検討されているが、率直にどう考えるか？
⇒ コメントできる立場ではない。
- 森林環境譲与税に関して？
⇒ どのように使うかは非常に難しいのですが譲与税の活用は考えていない
- 行政とのつながりはどのようなところ？
⇒ ペットボトルなどで協定を結んでいる（水育）
- 広域的な連携は？
⇒ 協定を結んだうえで事業を行っていかないといけない。
小菅村の例もあるので包括的になるので各行政との連携が必要